

課題 超高層建物の室内被害と対策効果および非構造部材損傷評価

2014.9.1 名大・長江拓也

実験システムの設計と実践

命題 被害様相と対策効果の防災資料
 → 複数の大規模居室空間
 建物解析の予測応答を現出
 → 左右前後3m, 3分間の揺れ

実験手法
 制約条件の中で
 応答の最大化を
 実現する
 ①加振装置
 ②計算手法

逆解析入力波

予測応答
 油量限界
 x 20 に相当

二段

総重量 755t

兵庫県との共同研究

都府県共同研究会

兵庫県 Hyogo Prefecture

東京都 東京消防庁 Tokyo Fire Department

京都府 Kyoto Prefecture Web Site

愛知県 Aichi Prefectural Government

大阪府 Osaka Prefectural Government

新潟県 NIIGATA PREFECTURE

徳島県 Tokushima Prefectural Government

静岡県 SHIZUOKA Prefecture

関係者が普段の防災活動で活用

兵庫県建築士会

被害様相と対策効果の防災資料

対策なし

対策あり

外装材協会との連携

ALC版

金属カーテンウォール

柔軟骨組設計

ALC協会

ガラス板とサッシの相対変形角

カーテンウォール・防火開口部協会

ALC版(ロッキング構法)の回転角